



PICKUP 新しい管理事務所がオープンしました!!～新しい時代とともに、事務所も一新!～

昨年5月より解体工事・新築工事が進んでいた公園管理事務所が、3月21日よりリニューアルして営業再開です。新しい事務所には、「会議室」と「多目的室」が新設されており、一般の方にも供用可能な有料施設となっています。利用にあたっては、事務所受付にて申請書・要項を提出いただくことで、ご利用いただけます。ほかにも、驚くほど広い間取りの「エントランスホール」、「多目的トイレ」や「授乳室」といったバリアフリー設備の併設など、今の時代に合った事務所に生まれ変わりました。ぜひ、全部が新しくなった管理事務所に遊びに来てください!

【「杜の教室・敷島スポーツ塾」のご案内（4月・5月）】

敷島公園では、毎月「敷島スポーツ塾」「杜の教室」を開催しています。

- ①ボディシェイプ講座 4/22・5/13
(月:19時半～)
- ②心と体スッキリ塾 4/10・5/22
(水:10時半～)
- ③ノルディック・ウォーク教室4/11・25・5/9・23
(第2・4木曜:10時～13時半～)
- ④ビーズアクセサリー・クラフト手芸教室
10時～13時～ ※3
4/29(土)「クラフトテープのマグネットフラワー」
5/18(土)「クラフトで作る紫陽花ブローチ」
又は「ビーズのアジサイペンダントトップネックレス」

※パークヨガは2019年度はお休みいたします。

※詳細内容・料金・お申し込み等は、「敷島公園管理事務所」TEL:027-234-9338(10:00～16:00)までお問い合わせください

TOPICS 春のイベント報告・案内

- ▼2/28 新たな防災への取組として、「第1回防災会議準備会議」を実施しました。敷島公園周辺自治会の皆様と、有事の際の課題の共有と各地域の現状等について、具体的な活動状況の報告を含め、活発な意見交換が行われました。※1
- ▼3/10 J3リーグが開幕し、「ザスパクサツ群馬VS秋田」が開催され2-2の引き分けとなりました。今シーズン、ザスパクサツ群馬は新戦力22人を補強し、J2リーグ昇格を目指します。応援をお願いいたします。
- ▼3/15 「敷島公園運営協議会」を開催し、学識経験者、地元自治会、競技団体等と敷島公園の管理運営、地域防災のあり方などについて意見交換を行いました。
- ▼4/29 「第30回敷島公園まつり」を開催します。詳細は裏面をご覧ください。※2
- ▼5/8 「プロ野球パ・リーグ公式戦—西武VSロッテ」が上毛新聞敷島球場にて開催されます。来場者にはユニフォーム型タオルが配布されます。プロの試合が間近で観戦できるチャンスです。是非、お越しください。

PHOTO 春のイベント報告・案内の写真



▲第1回 地域防災準備会議 ※1



▲敷島公園まつり ※2



▲手芸教室作品—クラフトテープのマグネットフラワー ※3

C H E C K 公園からのお知らせ

第30回敷島公園まつり

日時: 2019年4月29日(月・祝)10時~16時(雨天決行)

今年で30回目という節目の開催を迎える敷島公園まつり、今回の開催テーマは「そだてよう、公園マイスター!」です。公園マイスターとは、直訳すると「公園の名人」。イベントでは、スタンプラリーを実施しますが、このスタンプラリーを通じて、公園を最も楽しんだ人に対して「公園マイスター」の称号を贈っています。今年もまた、「平成最後」の敷島公園まつりから新たな時代に向けて、数多くの公園使いの名人が誕生します!スーパーGWは、敷島公園で楽しい一日をお過ごしください!



敷島公園まつりの様子

V O L U N T E E R しきしま・ボランティアの活動報告

<個人ボランティア>

のべ87人(3月20日現在)

○花壇の植込みや清掃作業を行って頂きました。

<団体ボランティア>

のべ677人(3月20日現在)

○花みどりサポーターズ敷島(3/16)

花壇の除草、清掃、花がら摘みを行って頂きました。

○日本ステリ株式会社(2/24)

花壇の除草・清掃・園路落葉清掃を行って頂きました。



▲花みどりサポーターズ
敷島のみなさん



▲日本ステリ(株)のみなさん▲



<ボランティア募集中>

敷島公園でのボランティア活動を随時募集しています。活動内容・時間などお気軽にお問い合わせください。

I N T E R V I E W 公園のプロが語る

平成30年度第2回消防訓練の実施報告

「平成30年度第2回消防訓練」を3月6日(水)に水泳場で行いました。第1部は、水泳場内で火災が発生したことを想定し、出火の確認、初期消火活動、消防署への通報、機器の操作方法などの訓練を行いました。専門設備の取り扱いについては、外部より専門業者を招き、火災報知設備のスムーズな操作方法の説明や、対応への質疑応答を行いました。また、放水消化が出来ない機器に対して、二酸化炭素消化設備の取り扱い方法、注意点についてレクチャーを受けました。第2部では、救命救急訓練として、溺水者の発見、救護、蘇生措置対応などを行いました。

当JV従業員が、一般利用者、救助チームに別れて実演し、救助チームには、いつ誰が溺れるか事前に知らせず、救助対応までの時間を計るなど、有事さながらの緊張感を持って訓練を行いました。火災発生や、水難事故もあってはならないことですが、万が一に備え、有事の対応として、従業員一同今後も取り組んでいきます。

